

平成 27 年度予算記者会見でのコメント

平成 27 年度予算の編成作業が、このほど終了しましたので、その概要について資料を配布いたしました。

概要については、すでに資料をご覧のことと思いますので、説明は割愛させていただきますが、

予算の編成にあたっては、人口対策の視点を持ちながら、予算編成方針で定めた 3 つの重点に沿った取り組みはもとより、「フードバレーとかち」の加速・深化を図り、成果を着実に生み出すべく、庁内一丸となって作業を進めてきたところであります。

また、27 年度は、第六期の高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画、子ども・子育て支援の新制度など、新たな計画や制度のスタートの年でもあり、高齢者福祉や、子育て支援などの施策についても充実を図ったところであります。

更に、地方創生の動きについても、1 月 27 日に設置した「帯広市総合戦略本部会議」を中心に、帯広市版総合戦略の策定をはじめ、地域の未来をつくる様々な施策に取り組むため、国の交付金を 26 年度補正予算に計上し、27 年度予算と一体的に執行してまいります。

今後、人口減少、少子高齢化の進行などに伴う地域社会への影響が見込まれるなか、将来にわたって安心して住み続けられる持続可能なまちづくりに向け、必要となる経費を盛り込んだ予算になったと考えています。